

## 意見交換会実施報告書

開催日時	平成27年11月10日(火) 午後6時30分～午後8時00分
開催場所	常盤公民館学習室
出席議員	岡 秀子(責任者) 堀 堅一(司会) 栗林 学(記録者) 松島 吉子(記録者) 小林 治男(受付等)
参加市民数	16人
議会報告内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度決算の概要について</li> <li>・議会における事務事業評価・地方創生について</li> </ul>
意見交換内容 (要望提言等)	<p><b>まちづくりについて</b></p> <p>○発言1 大町市出身者が帰ってきたいというまちづくりをしておく必要があると思う。外資系の会社に勤めていたが、のんびり暮らしたい。若い人たちを集めて企画を立てたり、プロジェクトチームをつくってはどうか。</p> <p>★回答1 市では定住促進に力を入れ、昨年度は32世帯63名が移住している。今後も人口減少対策のため、企業誘致など力を入れていく。</p> <p><b>総合戦略について</b></p> <p>○発言2 東京と同じ魅力を出さないと人口流出は防げない。総合戦略を全部やれるよう、議会と行政が一生懸命取り組んでいただきたい。</p> <p>★回答2 総合戦略を策定したのは行政であるが、議会も市民も一体となって進めていく必要がある。ご協力をお願いしたい。</p> <p><b>市の魅力について</b></p> <p>○発言3 大町の魅力は車で15分もあれば用事が足りることや通勤に1時間かかったとしても電車には座れることである。ふるさとへ帰りたいたいという人がいれば、人口も増えると思う。ここに住んでいる人が下を向かないことが大事である。</p> <p>★回答3 ご意見として承る。</p> <p><b>雇用について</b></p> <p>○発言4 都市部の人に大町は山・湖・スキーなど良い印象を持ってもらっても、移住となると雇用の場が一番心配である。高学歴の人を採用する企業がどれくらいあるのか。雇用を増やすことは難しい。</p>

**★回答 4**

市の積極的な企業誘致に取り組んでいるが、大企業の進出はなかなか難しい状況である。進出企業に対する固定資産税の減免措置などの支援は行っている。また、総合戦略の中では、新規起業の支援という項目もあり、小さな取り組みが徐々に大きく広がっていくことを期待している。

**不妊治療補助について**

**○発言 5**

産科医療の充実とあるが、体外受精で補助制度を使ったが、回数で打ち切られた。補助を長くしてもらいたい。

**★回答 5**

県及び市の規定により回数等の制限がある。制度の充実について、行政側へ伝える。

**空き家の活用について**

**○発言 6**

若い人に空き家に安価で住んでもらえるように家賃を市が補助できないか。初めは年寄りが住んでもらうなど考えられないか。

**★回答 6**

中心市街地の空き店舗は、1年間は家賃の半額補助してもらえる制度があり、これを市全体的に広げるべきではとの提案もある。また、空き家の情報があれば、市の定住促進係へ寄せていただきたい。

**婚活の推進について**

**○発言 7**

婚活の推進について、成果がわかれば教えてもらいたい。松川村で何組かできたが、ほとんど成立していない。

**★回答 7**

カップリング数は公表するが、その後の状況についてはプライバシーの問題もあり公表されない。

**○発言 8**

同僚の何人か婚活に行ったが、みんな顔見知りであった。年取れば知り合いでなかなかカップルになりにくい。

**★回答 8**

大町市全体が認定された恋人の聖地の評価が良く、様々な婚活の努力をしているため、これからいい方向に進むと考えている。

**転出の抑制について**

**○発言 9**

アンケートによれば、大町に住みたい人が60%に対して、住みたくない人が12%いる。この人たちを止める方法はあるのか。住みたくない人の1割が転出したら280人の人口が減る。有効求人倍率は1.5で、働く場がないのではなく魅力ある職がない。大町は全国5番になったようだが、移住してくる人は少ない。行政もし

っかりバックアップしてもらいたい。

**★回答 9**

宝島社の発行した雑誌で、大町は全国住みたい田舎ランキングで5位となり、多くの反響があり宣伝効果があった。また、アンケートによれば一部には住みたくない人がいるが、事情があって転出せずに住み続けている。こうした人たちの思いに寄り添っていくことが必要である。

**人口の将来展望について**

**○発言 10**

最終的に人口2万人に抑えたいとのことだが非常に難しいのではないか。日本自体が消滅してしまう。

**★回答 10**

市では出生数が減少した3年ほど前から子育て施策を充実させ、昨年は200人近くの子どもが生まれた。施策の直接的な影響かどうか精査しなければならないが一定の評価はできる。

**中心市街地について**

**○発言 11**

中心市街地の衰退が、市全体に影響しているのではないか。夜間など誰も歩いていないことがある。

**★回答 11**

商店街等でアンケートを取ると、後継者がいないという声が多い。中心市街地活性化といってもできることは限られている。

**地域高規格道路について**

**○発言 12**

地域高規格道路が完成すると、安曇野市から大町市まではどれくらい短縮できるのか。建設に向けた現状はどうか。

**★回答 12**

地域高規格道路の起点などは正式に決まっていない。県では今年12月末までにルート案を示すとしている。10月上旬に県へ陳情した際に、12月に発表するルート案で地元がまとまらなければ無理だと言われた。ルート案が発表になってからが正念場である。

候補路線の指定から20年経過して、犀川の横断位置や車線数、設計速度など様々な検討がされてきたが、いつ着工して、いつ完成するのか決まっていない。

今回は安曇野市から大町市までのルートが発表される予定である。その後、大町市内のルートということになるので、市民の皆さんにもう一度考えていただきたい。

**○発言 13**

白馬村、小谷村の人にとっては、国道が1本しかないので、病院に行くときや災害、緊急時の対応のため地域高規格道路は必要である。

**★回答 13**

	<p>命をつなぐ道として必要であるということは、県に対して陳情している。今後も強力に進めていく。また、北陸新幹線の延伸により観光面でも交流人口を増やすために必要である。小谷白馬大町一帯で取り組む。</p> <p><b>交通安全について</b></p> <p>○発言 1 3 運動公園の西側道路とオリンピック道路の交差点に信号機をつけていただきたい。北からの車のう回路となっており、自転車で通行している人も多く危険である。</p> <p>★回答 1 3 以前にも陳情があった箇所であり、警察は了承しているものの道路拡幅が必要で、地主との調整に苦労しているようである。交通事故も発生しており、回転灯が設置された。</p> <p><b>福祉人材育成について</b></p> <p>○発言 1 4 社会福祉協議会に勤めているが、介護需要が増えており人手不足である。報道されるように賃金水準が低いことや特に訪問介護（ヘルパー）の仕事は、主に女性が単身で不慣れな台所で調理と介護をしないといけないということで非常に敬遠されがちである。また、働きたくても介護福祉士などの国家資格がないとできないようになっている。福祉人材育成も雇用の充実になるのかなと思う。総合戦略において、福祉分野も産業であり、雇用の場であるという視点を持っていただきたい。</p> <p>★回答 1 4 介護福祉士資格取得に対する助成の検討や大北職業訓練校での講習会の充実など通じて福祉人材の育成につながると考えている。</p>
<p>その他 特記事項</p>	